

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度で、一定の定着がみられます。特に書かれたものを読み取り統合的に理解することや、そこから自分の考えを広げたり深めたりすることには高い定着率がみられ、学習の成果が読み取れます。一方で古典の物語の内容を捉えることに課題がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国よりもやや低く、数と式の計算や関数の理解に課題がみられます。図やグラフを活用しての課題解決については全国より高い傾向が見られます。
- ・英語の平均正答率は全国よりもやや低く、特に英語で書かれたものの情報を正確に読み取ったり、要旨を捉えたりすることに課題がみられます。一方で「英語の授業が楽しい、英語は大切だ」と思う割合は全国よりも高いです。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目
「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」「人が困っているときは進んで助けている」「先生はあなたのよいところを認めてくれている」「学習で活動における学級での話し合いを生かして、今、自分がすべきことを決めて取り組んでいる」「学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」「PC・タブレットなどのICT機器を授業でほぼ毎日活用した」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「将来の夢や希望をもっている」「毎日同じくらいの時刻に寝起きしている」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と答えた生徒の割合が全国に比べて低いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・学習したことを繰り返し復習し、基礎を定着させ、学習したことをどう活かしていけばよいか、考え、判断し、活用していく力を育てます。
- ・学級活動を含め、全教科で言語活動を充実させるなどの工夫を行い、自分の考えを書いたり発表したりする授業を多く取り入れていきます。
- ・家庭学習の定着をさらに進めていきます。
- ・学級づくりを推進し、話し合い活動（フリートークの実施等）を設定し、自分の考えを深めたり広げたりすることができるような集団づくりと、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組みます。
- ・国語の学習では、自らが考えたことを人に分かりやすく伝えたり、共有したりする活動を行っていきます。また、古典の学習においては、色々な文章を読む機会を折りに触れつくっていきます。
- ・数学の学習では、基礎的なことを学ぶ際に、日常生活に関係ある題材を用いて考えさせ、子どもが興味をもって取り組めるようにします。また考えたり工夫したりできる学習活動を多く取り入れていきます。
- ・英語の学習では、英語で書かれた日常的な話題や、社会的な話題を読む取組を行い、英語の文の構造に慣れ、読み取る力を育てます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・平日の学習時間を子どもと一緒に決め、計画的に学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。またその際に、子ども達が自分に合った学習方法を見つけられるよう、「シラバス」を活用してください。
- ・規則正しい生活が送れるよう、スマートフォンやゲームをする時間のルールを決めてください。
- ・生徒自身の長所や将来の夢や希望等について、親子で話し合う機会をつくっていただきたいと思います。
- ・自らの目標をたて、スモールステップを踏みながら目標達成に向け、努力を重ねるよう声かけをお願いします。